

「生協けんこうプラザ」 建設開始

「生協歯科ひろしま」および「福島生協内科クリニック」が移転開業する「生協けんこうプラザ」の建設が始まりました。来年の7月に完成予定です。

● **11月20日 建設予定地で「けんこうまつり」開催**
前日までの雨がすっかり上がって好天に恵まれ、3,000人以上の参加で、大盛況でした。



● **12月01日 地鎮祭**
建設中の安全を祈願し、鍬入れを行いました。



● **12月05日 着工**
12月16日現在の現地の状況です。



● 建設中は、ご迷惑をおかけいたしますがご協力のほどよろしくお願いいたします。

消防訓練を おこない ました!



11月10日、広島市西消防署の消防士さんから、防災の心得などの講義をしていただいた後、消火器や消火栓の使い方や、ふとんを使っての避難方法などを実際に行ってみました。



なにより大切なことは、「火事を出さない」ことであると、肝に銘じた一日でした。

編集 後記

● 旅先のお寺で写仏を体験してきました。集中して、1つ1つ丁寧に筆をはしらせていると、時間があっという間に経っていました。心を落ち着かせるこういった時間を過ごすのも良いものですね。(K)

● 新年あけましておめでとうございます。現在、「生協けんこうプラザ」建設中。少しずつ建ちあがっていく様子を見ると、完成が今から待ち遠しいですね。その後は、いよいよ新病院です。みんなで気持ちをよせあって、いい病院を作りましょう。(E)



日本医療機能評価機構認定病院

笑顔いっぱい

広島中央保健生活協同組合 総合病院 福島生協病院

冬号
(第32号)

発行日/平成24年1月1日

発行・編集

福島生協病院編集委員会
広島市西区都町42番7号
TEL082-292-3171(代)

ホームページアドレス

<http://www.hch.coop/fukushima/>

◆◆◆新病院建設に向かって◆◆◆

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

さて今年は、来春には建設が始まる新病院の姿が浮かび上がる年です。地域の組合員さんや全職員から、新病院に対する夢や期待が寄せられています。生協の病院は、可能な限りそれを総結集した内容となると思います。

どんな病院になるかという一言でいえば、「地域で求められる病院」です。そのために必要な構想の柱は五本に集約されると思います。それは ①超高齢化社会における医療機関としての機能 ②地域に密着した総合的な医療機能の発揮 ③高齢者医療を支える急性期医療の堅持 ④求められ可能な分野に積極的に応えていく ⑤四疾病五事業での展開です。

これらの医療戦略の鍵は医療連携の強化にあります。今、医療環境は「地域包括ケア」の流れにあります。それは急性期医療をも含めて、地域において、医療・福祉・介護機能の分担と連携がこれからの大きな流れです。新病院はこれまで以上に、地域に密着した、かかりやすく、いざという時に入院できる中小病院の役割を果たしていく使命があります。

このような事業を行う事で、多くの人と出会えます。そしてその人たちが生きているこの土地で、こんな病院があって、自分や家族が助けられたり、慰められたり、見送られたり、泣いてもらったりした病院。本当にここでよかったと言ってもらえる病院です。そして医療を受けてよし、働いてよしの病院です。医療内容も最新・最善の医療で、そこで働く人間も生き生きと充実している、そんな病院です。それは患者さんや利用者さんそして職員を含めて、そこで生き・働く人間が幸せにかけがえのない時間を過ごせる時空の創造です。

今回の新病院建設は大事業ですが、組合員さんと職員の協力の力で、医療生協ならではの革

新的で、生き生きとした活動性のある、素晴らしい病院を創りましょう。



●基本理念●

私たちは、患者さんの立場に立った医療を実践します。

基本方針

1. インフォームド・コンセント(説明と意思決定)を重視し、信頼される医療を提供します。
2. 教育・研修活動をすすめ、医療、看護、接遇の向上につとめます。
3. 地域の人々とともに、医療、福祉、介護のネットワークづくりをすすめます。

超音波診断装置を更新しました。

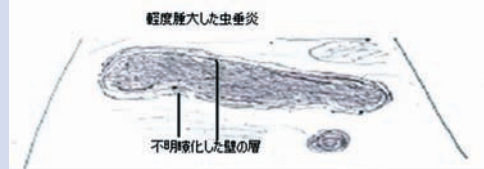
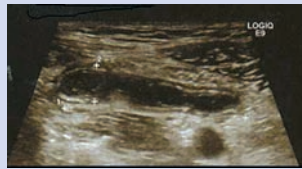


検査科長 児玉 文子

2011年9月に超音波診断装置が更新されました。ここエコー室でも組合員皆様の出資金が活かされています。昨年春、日本製3社と米製1社、計5機種のデモを2ヶ月かけて行った結果、米国のGE社「E9」に決まりました。理由は他社より高画質で、特に乳房と腸の描出が際立って良かったためです。現在市内に4台しかない高額上位機種の1台が当検査室に設置されました。以下の写真は当院の症例です。

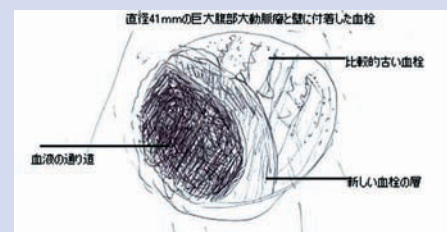
<A:「軽い虫垂炎」(38歳)>

黒い棒状の所が虫垂です。正常では虫垂壁周囲の細く白っぽい3本線が炎症によりぼやけ、5mm以下の直径が8mmで少し腫れています。



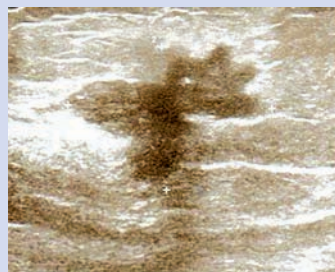
<B:「腹部大動脈瘤」の輪切り(69歳)>

へその辺りなので正常の直径は10mm程度ですが、症例は41mmとかなり大きくなっています。円形の左3分の1の黒い所のみ血液が流れ、右上3分の2の灰色の所には固まった血液(血栓と言います)が貼り付いています。この血栓が血液の流れによって剥がされ、下腹や足の細い血管に運ばれ詰まる(同じ原因に脳梗塞があります)危険状態です。CTでは血栓は少ないとの報告でしたがエコーではこの様に見えます。

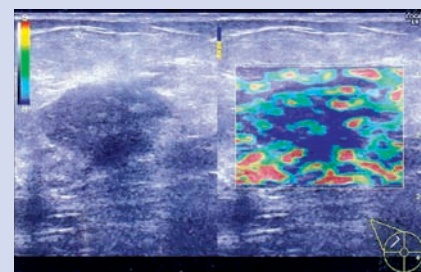


<C:乳癌(82歳)>

C-1の中心にある黒い所が癌です。正常の乳腺は超音波でもマンモグラフィーでも白く写りますが、癌などもマンモグラフィーでは白く写るので、超音波検査が有利な場合も多いのです。C-2の写真、左半分の黒い所が癌で、右半分がその癌の硬さ(エラストグラム:最新の技術です)を示しています。赤や黄色は柔らかく一番硬い所が紺の色分けなので写真の癌は、硬い事を示しています。女性の皆さん、入浴時には自分でもチェックし、乳癌検診も受けましょう。



C-1



C-2

わたしたち検査技師も機械に負けないよう努力を続けますので、皆様のご支援を宜しくお願いいたします。

看護部の様子を紹介～「看護ブログ」

看護部部長室

副総師長 原田 絹子

最近の看護学生の8割以上が就職活動の入口としてインターネットを利用しており、看護師の採用活動においてホームページの充実には欠かせないものとなっています。

福島生協病院では7月にホームページをリニューアルしました。それをきっかけに、看護部もブログを立ち上げました。ブログは当院に興味をもってくれる方と「繋がる」ためのコミュニケーションツールのひとつであり、情報発信の場でもあります。ホームページよりさらに身近に看護部を感じていただくことが出来ます。病棟行事や研修会、看護学生や高校生ボランティアの様子など、看護部を知ってもらう記事の他に、8・6や生協強化月間など病院全体の取り組みも取り上げています。看護部だけでなく、私たちの病院「チーム福島」を、季節の風情を織り交ぜながら紹介していけたらと思っています。みなさんのアクセスをお待ちしています。

福島生協病院 看護ブログ

病院の看護部の様子を載せていますのでよかったですら覗いてください。



2011年12月08日

病院はクリスマスモード

12月に入り職場のあちこちで**クリスマス**の飾り付けが始まっています。

病院の玄関には光の色が変わるちょっとシックなツリーが…。

地下の放射線科の受付にはサンタクロースの置物が…。

それぞれの病棟のデイルームには華やかに飾り付けされたクリスマスツリーが輝いています。

そして忙しい業務の合間を縫って、スタッフが準備しているのは「クリスマス会」のプレゼントかも？



街が華やかこの時期に入院されている患者さまの、心が少しでも暖かくなるようなクリスマスの準備ができればいいなと思います。♥

byシルク

病院ホームページ(www.hch.coop/fukushima)から「看護ブログ」のバナーをクリックして下さい。

私のクリニック

当院は昭和52年に観音町に父、久史が開業し、昭和54年に現在の天満町に移転しました。



私は大学で肝臓の研究をしておりましたが、平成18年に父が入院したのをきっかけに副院長として医院を手伝うようになり、以後二人三脚で診療を行っております。プライマリ・ケアを始めて5年になりますが専門外の病気や病気以外の問題にも直面し不勉強を実感する日がいまだに続いております。福島生協病院には急患の診察や入院をお願いするなど大変お世話になり感謝しております。



副院長 三好 秀征
医療法人 三好内科

〒733-0022
広島市西区天満町17-1
電話 082-294-2277
FAX 082-294-2284

院長 三好 久史